

いわて平泉米だより

令和6年3月号

中干し延長による J-クレジットの取り組みを開始します

J-クレジット制度は、温室効果ガスの排出削減量をクレジットとして国が認証し、取引を可能とするものです。農業は知らずして温室効果ガスを大気中に放出する産業です。農業による排出削減量が「見える化」されるとともに、農業者等が温室効果ガス削減の取り組みにより生じるクレジットから販売収入を得ることができるため活用が期待されています。特に水稲の作付けによる温室効果ガスの発生は、農家の少しの取り組みで減少させることが可能です。JAでは環境に配慮した米作りを推進しており、中干しの延長で削減される温室効果ガスをカーボンクレジット化する企業と業務提携し、脱炭素化農業を実現する事業に着手します。クレジットは取り組み認証後に農家へお支払いたします。

本年度は、モデル農家として米の出荷契約数量300袋以上の生産者を対象に取り組みを開始し、課題を整理した後、全戸に拡大してまいりますので、ご理解とご協力をよろしく願いたします。また、モデル農家以外の方で先行して取り組みたい方には、各営農経済センターまでお問い合わせください。



中干し期間の1週間以上延長などに取り組みます